

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 人間関係とコミュニケーション I		授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者 岡村展郎 (実務経験者)	
授業の回数 15回	時間数(単位数) 30時間(2)	配当学年・時期 2年 前期	必修・選択 必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得する学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>人間の多面的理解、人権尊重と権利擁護、人間関係の形成について考える。 技法の習得を目指す。</p> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <p>生活支援には、人間の理解と人間としての尊厳保持と自立した生活を支える、という価値観・専門性が必要であることが理解できる。コミュニケーションが良好な人間関係づくりに大切なことであることを理解する</p>				
<p>[授業のテーマ・内容]</p> <p>1 <u>人間関係の形成とコミュニケーションの基礎</u> 個々人の認知の世界から自己覚知の必要性</p> <p>2 " 個々人の認知の世界を軸に人間関係を考える 良好な関係づくり (受容。・共感の大切さ)</p> <p>3 " 人生というドラマの主人公、生活の構成要素</p> <p>4 " 生活の中の自分 (演習) ～主人公、構成要素の考察</p> <p>5 " 社会関係から生じるストレス</p> <p>6 " エコロジカルな視点による人間関係 (演習) (エコマップの作成)</p> <p>7 " コミュニケーションとは</p> <p>8 " コミュニケーションの目的と方法</p> <p>9 " コミュニケーション効果 (言葉遣いと人間関係)</p> <p>10 " コミュニケーション効果 (演習)</p> <p>11 " コミュニケーションを促す環境</p> <p>12 <u>コミュニケーションの技法を知る</u> カウンセリング技法: 基礎</p> <p>13 " 反射などの具体的技法、動作法など</p> <p>14 生活場面面接の理解</p> <p>15 まとめと試験</p>				
[使用テキスト・参考文献] 最新介護福祉士養成講座 中央法規 人間の理解			[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) 試験80%出席10%レポート10%	